

- 国において、新たなレベル分類の見直しが行われ、今後オミクロン株と同程度の感染力・病原性の変異株による感染拡大が生じ、保健医療の負荷が高まった場合への対応方針が決定されたところ。
- 県では、国の方針を踏まえつつ、本県のぜい弱な医療提供体制に鑑み、県の対応方針に基づき、引き続き早め早めに警報等を発令し、県民への注意喚起や必要な行動要請等を行う。

国のレベル分類	
レベル4 <small>(医療機能不全期)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・膨大な数の感染者で一般外来にも患者が殺到 ・救急車を要請しても対応できず、通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態 ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫 <p>【病床使用率/重症病床使用率 概ね80%超】</p>
レベル3 <small>(医療負荷増大期)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来や救急外来に多くの患者が殺到（重症化リスクの高い方がすぐに受診できない事象が発生） ・救急搬送困難事例が急増 ・入院患者も増加し、医療従事者にも欠勤者が多数発生 <p>【病床使用率/重症病床使用率 概ね50%超】</p> <p>→国が「医療ひっ迫防止対策強化地域」へ指定 →感染拡大が続き、医療機能が不全に至る恐れがある場合、国が「医療非常事態地域」へ指定</p>
レベル2 <small>(感染拡大初期)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来の患者数が急増 ・救急外来の受診者数も増加 <p>【病床使用率 概ね30～50%】</p>
レベル1 <small>(感染小康期)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来医療・入院医療ともに負荷が小さい <p>【病床使用率 概ね0～30%】</p>

県の対応
<p>病床使用率/重症病床使用率 50%超 又はそのおそれがある場合 (感染状況等も踏まえ総合的に判断)</p>
<p>【第一段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療非常事態宣言」を発令 ・「医療ひっ迫防止対策強化地域」への指定を国へ要請 <p>【第二段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療非常事態地域」への指定を国へ要請 <p><国の想定対応例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出・移動は必要不可欠なものに限ること（出勤大幅抑制、帰省・旅行の自粛）を要請 ・イベントの延期等の慎重な対応を要請（飲食店や施設の時短・休業は要請しない） ・学校の授業は継続、部活動の大会や学校行事等は開催方式の変更等を含め慎重な対応を要請
<p>病床使用率/重症病床使用率 25%超 又はそのおそれがある場合 (感染状況等も踏まえ総合的に判断)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「医療緊急警報」を発令
<p>病床使用率/重症病床使用率 15%超</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「医療警報」を発令